

平成 27 年度第 2 回南魚沼市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成 27 年 12 月 25 日 (金)
開会 13 時 45 分 閉会 14 時 50 分

2. 場 所 南魚沼市役所本庁舎 大会議室

3. 出席者 南魚沼市長 井口 一郎
南魚沼市教育委員会
教育委員 角谷 正雄
教育委員 島田 裕子
教育委員 西野 仁
教育長 南雲 権治

(事務局関係)

中島教育部長 高野学校教育課長 佐藤社会教育課長
佐藤子ども・若者育成支援センター長 長澤管理指導主事 山崎管理指導主事
大嶋学校庶務主幹 遁所施設主幹 島田主任
今井総務部長 清水企画政策課長 高橋行革主幹

4. 協議事項 (1) 「南魚沼市後期教育基本計画」について
(2) 教育大綱の策定について
(3) その他 (学区再編の進捗状況について (報告))

5. 内容

○開会 (今井総務部長)

○挨拶 (井口市長)

教育委員の皆さま、年末のお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。第 2 回目の総合教育会議であります。今日は後期教育基本計画について、皆さまから忌憚のないご意見をいただき、すばらしい基本計画が策定されることを願っております。十分協議願いながら、南魚沼市の教育推進にご尽力いただきたいと思います。

○協議事項

(1) 「南魚沼市後期教育基本計画」について

(角谷教育委員が後期教育基本計画策定の概略・骨格について説明、西野教育委員が後期教育基本計画の詳細について、後期教育基本計画 (案) とスライドを使用し説明)

井口市長 皆さんが一緒になって作った計画ですから、あとはこれをどう実行するかということだと思う。

南雲教育長 この計画を実行するために人的配置を、という話が出たが、市長部局に来年度予算協議とともに要求している。

井口市長 13 ページの 5 番目の●印の、市内 12 地域のコミュニティ協議会との連携、これはぜひ活用していただきたい。土曜学習も始めており、これを広げていきたいと思っている。地域が必要としなければいけないわけだが、地域コミュニティ協議会の皆さんが地域の子供たちの例えば算数が弱いと聞けば、じゃあ自分たちが教えてやろうという感じになってもらいたいと思っている。

教育懇談会などは本当に良いこと。保護者以外で地域の教育について懇談会を行うということは、ほとんど経験がないことだ。予算もかからないことなので、すぐやってもらいたい。市政懇談会もあるので、それとどう連携できるか。同じようなことをやってはだめなわけだが。西野委員がおっしゃるように知恵を出して、ということになるだろう。

学びの郷南魚沼プランは、これから開始しようということか。28 年度に実施計画を策定予定か。

南雲教育長 旧図書館のスペースを「たまり場」としていろいろな事業をやっていききたい。併せて、マンパワーとして一人の増員をお願いしている。

井口市長 具体的にはどういうことをやるのか。

佐藤社会教育課長 「学びの循環」を実施したい。今までは自分が学んだことを自分のものとしていたが、それを子供たちに教えていったりすることで、市民が自主的に学ぶために集まってきて、それによって南魚沼の良さだとかを伝えていけたらと思う。市民があれをやってみたいこれをやってみたいといって集まる場所を作りたい。従来の生涯学習というのはどちらかというと行政が用意したプログラムに参加するという形だったが、市民自らが作り上げていく生涯学習プログラムを担う拠点づくりが必要と考えている。そのために生涯学習センターを作って自主的な活動をしながらそこから生まれていたものを伸ばしていくという形をつくっていききたい。

この地域は、義務教育あるいは高等教育を終えてさらに学びたいと思っても上の段階で学べる場がない。例えば直江兼続の生涯を学びたいという時に、市民カレッジみたいなものを作り、この地域の良さや地域に生まれた喜びなどの醸成につなげていきたい。

井口市長 CCRC の中でも、個人が今まで生きてきた経験や知恵や学識を他の人に伝えていく、享受する場所がないということが基になり、市へ移住する人にやっていただくお願いをしているもの。まずは、私はこういうことを知っているし教えてみたい、という人を募るのが最初だと思う。知恵や経験は年配者がいちばん。それを生かしていけばよい。

西野教育委員 お金もかからない事ですし。

井口市長 「南魚沼市教育基本計画」(案)については、了承ということでよろしいか。
一同 異議なし。

中島教育部長 今後、パブリックコメントを実施する。

井口市長 パブリックコメントで意見をいただき、変更が生じたときは、またこの会を開催する
のか。

南雲教育長 3月にもう1回開催する予定。

(2) 教育大綱の策定について (説明：高野学校教育課長)

井口市長 後期教育基本計画を大綱とすることについては、了承ということでよろしいか。
一同 異議なし。

(3) その他(学区再編の進捗状況について(報告)) (説明：高野学校教育課長)

井口市長 八海中学のグラウンドは平成29年度造成か。

高野学校教育課長 平成28年の秋作が終わった後造成だけ行い、29年度雪消えと共に工事を開始し
たい。

井口市長 顕彰碑は忘れないように。

高野学校教育課長 はい。

井口市長 1月12日の五十沢地区の公民館主催の新年会が予定されていて、五十沢中学校の校
舎利用について、市の方で考えがあったら提示してほしいと言われている。

一つは、五十沢地域の開発センターが老朽化してきて、駐車場も不足しているので、
開発センター機能を中学校に移したい。二つめは、南魚美術協会からアトリエ兼収蔵
庫となる場所がないか依頼されている。三つ目は、子育て支援の関連で、全天候型の
遊びの広場の要望。塩沢保育園が中保育園との統合後、園舎をそういう施設にする構
想があるが、塩沢の地域1つでは済まないと思う。そこで、五十沢の宮の地区であれ
ばさほど奥でもないで、ほのぼの広場の拡大版として雨の日も風の日でも行ける遊
びの施設も考えてみたいと思っている。このほかにもアイデアがあったらぜひ聞かせ
ていただきたい。

南雲教育長 年末に、各小中学校に、建物内のこの部屋は学校で使いたい、この部屋は空いてい

るというような図面を作成した。年が明けたら市長に届ける。

角谷教育委員　子育て支援施設としては、体育館など、広いスペースがあるので有効かと思うが、交通手段が心配。ただ、うまく使えば良い施設ができるのではないかと。広く室内が使えるのは大事。冬の間、子どもたちは運動不足になる。昔は子供たちは外で遊んでいたが、今はなかなか外へ出さない環境がある。体育館とグラウンドを上手に使えば良い環境を作ってあげることができる。ゆったりとした施設があることはいいこと。

井口市長　教室や体育館、広場等を上手に使うと相当なものになる。危険ありませんし。交通手段の問題は、どこに作ってもでてくること。ある程度、車ということを想定しないと。

南雲教育長　教育基本計画に沿った形でのモデル的な事業が展開できる可能性がある。

角谷教育委員　基本計画の議事の中でもあったように、コミュニティのかかわりとして、また懇談会を入れたりして、この地域全体で学校をどうするかという話ができるのではないかと。児童数が全体的に減少していく中で、これからの10年20年を考えてそんなことも含めて話し合いができたらと思う。

井口市長　（3）学区再編の進捗状況の報告については、了承ということによろしいか。
一同　異議なし。

○閉会（角谷教育委員）

今井委員が入院中で参加できなく残念でしたが、11月の会議のときに、退院するまで4人で頑張るからと話をさせていただいた。教育基本計画について西野委員から詳しく説明していただきましたが、これからパブリックコメントを実施し、市民の方から意見をいただくこととなります。その声を真摯に受けて協議し、市民の期待に応えられる計画としたいと思っていますし、またそれを理解していただき実施できるよう頑張っていきたいと考えておりますので、市からもご協力をお願いしたいと思います。今日はありがとうございました。